

## ノイエスだより

ノイエス朝日  
(朝日印刷工業株式会社)群馬県前橋市元総社町73-5  
TEL 027-255-3434  
FAX 027-255-3435  
https://www.neues-asahi.jp  
Communication House  
NEUES  
ASAHI

この時期になると書店のステーションコーナーに新年度からの手帳が並び、年齢を重ねても心機一転といった気持ちになります。

何かを新たに始める動機と勇気。そして積み重ねてきたものを止める決断。そして軌道修正をしていく自身の決意。

ノイエスに来廊された方や作家との会話の中で出てくる話題です。

年齢とともに家庭環境や自分自身の体調や行動範囲にも変化が現れ今迄のようにはいかないという諸事情が重なってきます。

ふと、そんな会話の中で思い出されるのは諸事情があるにせよ前を向いて制作を続けていた数人の先人の姿です。

「出発に年齢はない」を書かれた萩原葉子氏、そして百歳近くにもなり一二〇号のキャンバスと向き合っていた画家。そして、同じように九〇代になり病院のベッドで原稿を書いていた詩人の姿です。

高齢になると話題は病気や薬、そして身内の死といった話がいくどとなく聞かれます。しかし、今の社会で高齢だからというだけではすまされない。明日は我が身といったことも考えられる現実があります。大病が突然自身にふりかかってくることは経験した人にだけ切実に感じられ、普段の生活がいかに大事か、そして一日一日をどのように生きていくかと改めて考えさせられることです。体力的そして経済的に公募展や個展といった発表の場からは身を引き制作を縮小させて行かざるを得なくなり、それも仕方ないことかと思ったりもしますが、そんな時に作家、画家、詩人と三人の姿が浮かんできます。

展覧会を実施することの意味。画集や詩集を制作する意味。紙媒体で残すことの意味。ずっと考えていることです。

音楽会や演劇などの一過性の感激は心深くに記憶に残り、そして人生を変えていく強さがありますが、会場に足を運べない経済的、身体的事情の人々には、まだまだ開かれた社会ではないようです。

公園や病院での演奏会。入院していた時にロビーで開かれたコンサートでの音楽の優しさは今でも忘れられません。

情報過多ですます生活することが不便になり、テレビでの会話が早く感じられ、若者言葉が次々と出てきて、その変化に驚きます。

「昭和」が懐かしい時代だと感じられるのは昭和生まれだけではなく一〇代、二〇代の中にも得体の知れない魅力に取りつかれている若者がいることに「日本人の心」がまだ生きていると思え、少しホッとしています。

(武藤)

## ノイエス朝日〈展覧会〉のご案内

## 石原彰二展

〈企画〉

会期 四月五日(土)～十三日(日)

午前十時～午後五時(最終日は午後四時三十分)

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

石原彰二さんが住んでいるスペインのカマムラ村は人口約七〇〇〇人の静かなところ。マドリッドから東に三五キロで、街道を真っ直ぐ行けばバルセロナに到着します。

五〜六キロほど離れたところにあるアルカラデエナレスは、セルバンテスの生地として知られ古い町並みは世界文化遺産に指定され、週末は多くの観光客で賑わっています。そんな静かな環境の中で制作を続けています。

石原彰二さんから制作での文章をいただきました。

\* \* \*

制作上の長い試行錯誤や迷いの後、結局、普段の生活の中で予測せずに出合う視覚的感動等を何とか表現できたらなんと思うようになって、しばらくたちました。

うまく表現するには描写力も勿論必要ですが、物をよく観察し、目を鍛えていく必要があります。

また、限定された四角いキャンバスの中に、それなりの秩序を与え、それぞれの関係を上手く処理していかないと絵は、いつまでも破綻したままです。この辺の所は、とても重要なところですが、なかなか説明しがたいものです。

いつも何枚もの絵を並行して描いているので出来上がるまで、かなりの時間がかかります。

世の中には沢山の種類の絵画があり、自分の考えが、すべての画家や関係者に通じるとは思っていませんが「君の考えは古くさいよ」と言う人がいても全く不思議ではありませんが、それはそれで良いと思います。

マドリッド近くの内陸部に住んでいるので息抜きによく海の方に取材を兼ねて行きます。しばらくやっていなかった近郊の村の現場スケッチも再開してみました。

油絵四五点、デッサン一五点ほど展示する予定です。

是非お越しいただきスペインの風景をお楽しみください。お待ちしております。

石原彰二

## 第28回 樺澤健治 作陶展

会期 四月十八日(金)～二十四日(木)

午前十時三十分～午後六時(最終日は四時終了)

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

作家は、在廊しています。  
ノイエスの通常開廊時間とは異なりますので、注意してください。

樺澤健治(不可治窯) ☎0279-56-5617

## 小林裕児の絵画講座

座学と実技、絵画のしくみを学び創造の楽しみを探る

第2回

日時 4月30日(水) 午後一時～午後四時

会場 ノイエス朝日 一階

会費 単数会のみ 一回四〇〇円

\*二月の絵画講座が雪のため一ヶ月ずれましたので  
今回が二回目になります。



スペイン・カマムラ村(写真)  
教会の屋根にはコウノトリが巣をつくっています。